

株式会社 松屋 7月売上速報

※数値は速報値ですので、毎月中旬に発表する確定値と誤差が生じることがあります。

店名	売上高 対前年 増減率(%)	
銀座本店	-38.5	7月の銀座店は、クリアランスセールにおいて衣料品が苦戦した等により、月累計の売上高は前年に対して約4割減、また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、入店客数も前年に対して約5割減等が要因になり、月間を通して苦戦いたしました。一方では、インバウンド売上がほぼ消失した中、引き続き、国内のお客様による海内ラグジュアリーブランド(売上高前年比+8.7%)や、時計(同+3%)が堅調に推移する等、高品質・高価格帯商材へのニーズの高さを示しました。また、7月の売上の軸となるお中元商戦においても、前年に対し約2割増と好調に推移し、館全体を牽引しました。また、月後半から開催されている「誕生65周年記念 ミッフィー展」(日時指定制)は、館全体の回遊・買廻りを促し、強い来店促進策として好調に推移しています(8/10まで開催)。 7月の浅草店は、化粧品の特注や、ミセスを軸とした盛夏衣料品の消化が好調に推移したこと等により、売上高減は銀座店に比べ軽微に留まりました。

※ 上記「銀座本店」の数値は、「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。

※ 「7月売上報告」は、8/14(金)15時の開示を予定しております。

(ご参考)

銀座店	-40.0	「銀座店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。
浅草店	-17.3	「浅草店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。